

議 長	副議長	局 長	次 長	係 長	係	合 議

このとおり報告します。

総 務 文 教 調 査 会

平成 29 年 11 月 9 日（木）
9 時 57 分 ～ 12 時 13 分
全員協議会室

（委 員）野藤委員長、小川副委員長

沖田委員、西川委員、永見委員、佐々木委員、道下委員、西田委員

（議 長・委員外議員）三浦、村武、柳楽、串崎、上野、笹田、布施、岡本、芦谷、澁谷、西村
牛尾

（総務文教委員会 所管管理職）

〔総 務 部〕砂川総務部長、山根総務課長、西谷行財政改革推進課長

〔地域政策部〕岡田地域政策部長、岡橋政策企画課長、邊まちづくり推進課長、

〔財務部〕 宮崎財務部長、土谷資産税課長

〔金城支所〕 吉永支所長

〔旭 支 所〕 塚田支所長

〔弥栄支所〕 細川支所長、森下弥栄支所防災自治課長

〔三隅支所〕 斎藤支所長

〔教育委員会〕石本教育長、佐々木教育部長、河上教育総務課長、岡田学力向上推進室長
外浦文化振興課長

〔消防本部〕 佐々木消防長、本田警防課長、大驛通信指令課長

（所管外管理職）河野建設企画課長

（事務局）篠原書記 （報道）山陰中央新報社、中国新聞 （傍聴）1人

議 題

1 執行部報告事項

- (1) 浜田駅前広場整備事業計画について
- (2) 「平成 29 年度浜田市市民憲章推進大会」の開催について
- (3) 基準地価調査の結果等について
- (4) 横谷集会所の改修支援について
- (5) (仮称) 上府地区集会施設等建設工事について
- (6) 小中学校の室温測定調査結果等について
- (7) 平成 29 年度全国学力・学習状況調査結果について
- (8) 平成 29 年度浜田開府 400 年記念プレ講演・座談会《第 3 弾》について
- (9) 浜田市消防団車庫の統合について
- (10) 浜田市負担金の島根県からの返還について
- (11) その他
(配布物)
・浜田・益田地方拠点都市地域基本計画

2 その他

【以下詳細は会議録のとおり】

【会議録】

(開 議 9 時 57 分)

野藤委員長

只今から総務文教調査会を開会する。
改選後、初めての調査会となるので、委員と本日出席の執行部の皆からそれぞれ自己紹介をお願いします。
なお、本日出席されていない執行部の皆は、12月定例会の委員会でお願ひしたい。

《 「以下、委員並びに執行部出席者自己紹介」 》

野藤委員長

それでは、会議に入る。

1. 報告事項

(1) 浜田駅前広場整備事業計画について

野藤委員長

順次報告を願う。建設企画課長。

建設企画課長

(以下、(1)の資料をもとに報告)

野藤委員長

行財政改革推進課長。

行財政改革推進課長

駅前駐車場は、平成6年6月開設、本年4月から指定管理者制度導入し、浜田ビルメンテナンスが管理運営。昨年度実績で普通駐車約6万1千台。このうち7割程度が30分以内の無料駐車。定期駐車は現在7者で8台分の利用。駐輪場は、2階建てで1階に自転車150台、2階に原付バイク133台が利用可能で無料としている。自転車は約8割の利用、バイクは10台程度の利用。

この2つの施設は、来年4月から市営としては廃止だが、その後新ホテル完成までの間は、コガワ計画で仮設の駐車場、駐輪場を設置運営される。このため駐車場については来年1月末で指定管理者の指定を解除する。利用者へのサービスが低下しないようコガワ計画と協議している。

野藤委員長

報告が終わった。この件について委員から質疑は。西田委員。

西田委員

確認だが、観光協会についてはどのようにお考えか。

建設企画課長

この計画を少し前に、観光協会に相談しながら、理事会にも出席させていただきながら事業計画を説明させてもらって、スケジ

ジュールについても調査をさせてもらい、移転していただくことを考えていると。スケジュールもまた調査に入らせてもらって、お金の提示等、説明させてもらっている。

西田委員

駅前の計画において、将来的に浜田駅前の雰囲気随分良くなっていくと思っている。それにあたってこの駅前広場も、神楽時計もあるし、これまでの経緯の中には一般質問等で同僚議員が色々申し上げていたが、駅鈴や松阪市との交流もあったり、色々なことも出ているので、それらも含め他部署も一緒になって、浜田駅前が折角整備されるなら、もっとベストな状態を皆さんに描いてもらいたい。

野藤委員長

他に。佐々木委員。

佐々木委員

12月補正の関係もあるとのことだが、買収・売却の用地がそれぞれ示してあるが、今は鑑定中とのことなので、各土地がだいたいどれくらいの鑑定額になりそうなのか、もし分かれば教えて欲しい。

建設企画課長

用地の売買についての鑑定、9月補正の中で鑑定委託費用を認めてもらったわけだが、今はコガワ計画と交渉中である。具体的な単価については交渉内容に関わるため、回答は控えさせていただきたい。

12月予定の補正内容については、今後進めていく面整備、広場整備に向けての業務委託。これは来年度にしっかり関係機関と協議を行いながら良い広場にしていくための業務委託と、建物移転前の調査費用とを、12月補正の中で組みさせていただいて、業務発注したい。予算的には30年度予算になるが、発注は今年度内にさせていただきながらやっていきたい。

佐々木委員

売却・買収をざっくり言えば、売る面積がはるかに大きいので、恐らく収入の方が多いと思うが、その認識で良いか。

建設企画課長

土地に関しては、全体の事業費としては、売る土地・買う土地・整備事業費がかかる。これは差し引き1億5000万円くらいの出費を概略で試算している。

佐々木委員

今の質問は事業費というより土地だけを比較した場合にどうかというのを聞いたつもりだった。難しいなら構わない。

隣の道下委員とも開会前に話していたのだが、青い所、市が買

おうとしている、これ果たして買う必要が……その辺の理由が示せれば示して欲しい。

建設企画課長

広場整備を一番より良いものにと考えているところだが、面的なものとしてカラー刷り資料の下に構想図を付けている。概略の構想を考える時に、黄色の今から売ろうとしている土地の一部約120 平米ほどの細長い部分を残して売却予定としている。逆に言えばそれだけ残して十分な広場を整備していこうというために、全部売るのではなくいくらかは残しておこうと思っている。その残りに合わせて青い部分、その中には当然歩道が入ったり。南側の方へは観光バスとか、現在は一時的に止める場所もないため、そういったスペースを停車帯として取ったりとか、今は飽くまで構想なのだが、その面積を必要として整備を行っていききたい。

佐々木委員

バスが利用する所以外にも、南側の青い所、それにしてもあまりに利用価値の有無が理解できない説明だったので、もう少し詳しく説明いただけるとありがたいのと、先ほどの話では自転車やバイクを停める所が今後なくなるのか。

建設企画課長

今ホテルが建っている青い部分の跡地利用についてだが、イラスト上では緑地になっているものの、バス会社やタクシー会社と広場全体を含めてこれから協議するので、あくまで未定だにご理解願いたい。有効活用は当然考えていく。

駐輪場については、コガワ計画の方で建設される立体駐車場の1階が駐輪場になる計画とのこと。

行財政改革推進課長

駐輪場・駐車場は民営で新設されるとのこと。

野藤委員長

その他。道下委員。

道下委員

駐車場はコガワ計画がやるとのことだが、今まさに市民に不便をかけないことを一番念頭に考えるべき。料金的なものや、今まで市が確保していたくらいのスペースは確保できるのかといったところは考えているのか。

行財政改革推進課長

資料の表の2番を見ていただくと、新築建物の所で立体駐車場として、普通車113台、バイクが30台、自転車145台ということで、市営で行っている駅前駐車場以上のものが予定されている。サービスが低下しないように考えている。料金については、今は30分無料という一般駐車場の扱いをしているが、経過措置として最

低 2 年間は、今の市営の料金体系を継続していただくようお願いしている。

道下委員

来年度・再来年度はもちろん、それ以降もそのようにやっていただきたい。今の話を聞いて、今までの駐車スペース分は十分に確保できるんだということを念頭に、この計画を進めていかれるのだろうと思った。けれど、本当に確認したいのだが、図面等を見て、先ほど差し引き 1 億 5000 万円の市の持ち出しだというお話もあった。コガワ計画の言いなりというか、コガワ計画に利益が準じているような感じがすごくする。その辺りはどのような捉え方で良いのか。そもそもコガワ計画から出た話なのか。両方から、それとも市から、どうなのか。

建設企画課長

今の駅前市営駐車場で使っている黄色い部分の土地については、平成 5 年度に将来の駅前整備を思って、当時清算事業団から購入したと聞いている。駅前整備が目的で買った中で、当面は駐車場で整備をされている状況。そういった意味あいからして、今コガワ計画のステーションビルが建っている部分は、駅前の再整備については重要ポイントの土地になる。そこが今年 3 月、コガワ計画から、ステーションホテル老朽化に伴い建て替えるのに、駐車場の土地をと要望があった。内部協議の結果、方向性が出た。実際に面整備をするために、うちの方でホテルの土地買収やホテルの補償をするとなると、億単位の金がそれだけで飛んでしまう。そういった話が出たもので、かねてからうちも整備を考えていた中でタイミングが合ったので、前に進んだ状況だと考える。

道下委員

市民が納得できるような整備、あるいは事業の進め方を当然やっていかななくてはならない。あとは他の方に譲るとして。

下の図面の所の左に、一般車 J R 駐車場とか書いてあるが、あれはどういう意図か、通行ラインか。

建設企画課長

一応これはあくまで構想図、概略で、使うんならこんな感じかと、現況も踏まえながらあくまでもレーンを示している。このように分かれて侵入するようにレーン表示をとりあえずさせてもらっている。

道下委員

浜田市全体でも、9 月議会でも言われたかな、ホテルが不足しているといったことがある。そういうことも十分捉えられて、市

がコガワ計画と一緒に進めていかれる事業だと私は思う。だから市民から了解してもらえ事業になるよう進めていただきたい。

野藤委員長

その他。西川委員。

西川委員

土地売却・賠償交渉中とのことだが、今月中旬からもうホテルは解体されるとのことだが、今後交渉が上手くいかなかったらどうなるか。例えば覚書や契約があつて実行されるのか。

建設企画課長

最初3月1日にお願ひがあつてから、書面的なものはまだ現実的には交わしていないが、今はそういった交渉の中で双方の思いを詰めながら、近々覚書を結ぶ予定である。

野藤委員長

その他。

(「なし」という声あり)

野藤委員長

ではこの件については終了する。

(2) 「平成29年度浜田市市民憲章推進大会」の開催について

野藤委員長

報告が終わった。この件について、まちづくり推進課長。

まちづくり推進課長

(以下、(2)の資料をもとに報告)

野藤委員長

報告が終わった。この件について委員から質疑は。道下委員。

道下委員

これ18年から始まって、今回11名と2団体とのことだが、だいたいこの程度ですつといくのか。今後もそういう流れで、今までもそうだったのか。

まちづくり推進課長

この表彰については、毎年この推進協議会の構成団体からの推薦があつた方を役員会総会に諮つて決定しているので、その年年によって表彰される人数には違いがあるが、だいたい10名から20名くらいの範囲で推移している。多い年には30名程度ということもあるが、だいたい10から20である。

野藤委員長

その他。

(「なし」という声あり)

野藤委員長

ではこの件については終了する。

(3) 基準地価調査の結果等について

野藤委員長

この件について、資産税課長。

資産税課長

(以下、(3)の資料をもとに報告)

野藤委員長

報告が終わった。この件について委員から質疑は。道下委員。

道下委員

大変にショック。県内平均を上回る浜田自治区の商業地、片庭、駅前、殿町、186の周辺か、一番ポイントの所ががっくりと下がっている。これはやはり市としてどういう対策を……どう言ったら良いのか、本当に考えなければいけないと思うが、どうか。

資産税課長

私が答えるような内容ではないが、土地の下落というのは土地の売買が数多く行われていると上がる。公共事業や開発でそういうことが行われると上がる感じになるので、この発表があった時に京都の方が3倍くらいになったと報道があったが、まさにそれが出ている状況だと思う。その問題については私が答えるわけにいかないので、差し控えさせていただく。

野藤委員長

その他。

(「なし」という声あり)

野藤委員長

ではこの件については終了する。

(4) 横谷集会所の改修支援について

野藤委員長

この件について、弥栄支所防災自治課長。

弥栄支所防災自治課長

(以下、(4)の資料をもとに報告)

野藤委員長

報告が終わった。この件について委員から質疑は。西田委員。

西田委員

4番目の事業費の中の、地元負担3分の1というのは、具体的にどういう金額でどういう考え方をされているのか。

弥栄支所防災自治課長

事業費は149万だ円が、地域づくり振興事業のところでは事業費150万円を上限に3分の1の50万円をこういった改修に補助するという既存事業がある。これだけだと3分の2が地元負担となるが、今回更に3分の1の補助の上乗せをして、地元負担を3分の1の50万円程度は地元で負担するから、50万円を何とか支援していただけないかという地元からの要望があったことから、このような形で事業を執行したいと考えている。

西田委員

横谷集落も戸数がそんなに多くはなく、少ない集落だと思う。地元からの要望があったのは理解するが、一般的に集落の集会所の利用の仕方というのは、地元の人が密着して色々な形で使われるので、他の所ではそういった負担も他の地域と比べてばらつきがあると思う。ここの横谷集落ではそのようにおっしゃるなら理解はするが、出来るだけ地元の負担を押さえていただくように、

要望だがお願いしたい。

弥栄支所防災自治課長 今回は災害で被災を受けられたということで。通常の集会所の改修とは若干状況が違うので。他に復旧にかかる良い制度はないかと色々探したが、市全体の地域づくり振興事業しかないということで、あとは地元との協議の中で、地元負担は50万円までは何とか自分たちで確保するからということで、3分の1ずつの財源内訳になった。

野藤委員長 他に。小川委員。

小川委員 この集会所については下の写真を見ると、土砂がかなり流入したのを取り除いてあるような状態だが、現状この集会所は集会所として使える状態にあるのか。

弥栄支所防災自治課長 流入した土砂については、災害直後に地元の方が掻き出して洗浄されたので、集会所の中は今はある程度使えるようになっている。ただし外壁及びサッシ窓についてはまだブルーシートをかけたままの状況のため、なるべく早い段階に、寒い時期にならないうちに改修していただきたい。

野藤委員長 他に。佐々木委員。

佐々木委員 場所は多分、体験村のちょっと手前の方かなと思う。選挙中に多分通った。かなり大きな災害だったと感じている。地元の方からすれば必要な措置だと思っている。1つ聞きたいのは、定住対策基金事業という名前からだいたいわかるのだが、この財源を教えてください。あと、この地域のだいたいの戸数が分かれば。

弥栄支所防災自治課長 まずこの地区の世帯数と人口だが、16世帯27名である。先ほど委員が言われたように、場所については体験村から下ったところの、2車線の農道を上がるのではなく従来からある市道へ向けて下ったところの集落になる。

財源は地域づくり振興事業ということで、これは市全体の制度の中で3分の1、それから定住対策基金事業で3分の1なので、地域振興基金をあてて、あとの残りを地元負担となる。

野藤委員長 道下委員。

道下委員 これ16世帯、割ると1世帯3万円くらいか。私は酷だと思う。こういう中山間地域でもっと手厚い支援をと考えるのだが……。

野藤委員長 ご意見ということで。その他は。

野藤委員長	(「なし」という声あり) ではこの件については終了する。
(5) (仮称) 上府地区集会施設等建設工事について (6) 小中学校の室温測定調査結果等について	
野藤委員長	続いて、2件まとめて報告願う。教育総務課長。
教育総務課長	(以下、(5) (6) の資料をもとに報告)
野藤委員長	報告が終わった。1件ずつ質疑を受けたい。
	(5)について質疑は。沖田委員。
沖田委員	この集会所には駐車場はないのか。
教育総務課長	駐車場はある。台数についての回答は調べて後程回答したい。
野藤委員長	その他。
	(「なし」という声あり)
野藤委員長	(6)について質疑は。沖田委員。
沖田委員	このエアコン設置は必要性があるという意見は理解する。30度を超える状況での勉強はかなり酷だと思う。だいたい何度以上で使用するとといった設定はあるのか。
教育総務課長	普通教室にエアコン設置しているのはほとんどない。三隅小学校が設置されているだけなので、実際の運用をどうするかはまだ決めていないが、他市の状況でいくと28度を越えた段階でエアコンを入れて室温を下げると聞いている。
野藤委員長	その他に。西川委員。
西川委員	エアコンを全校に設置するとかかなり膨大な金額がかかるということで、一度に予算がつかないかもしれないが、その時の優先順位はどのようにお考えになっているか。
教育総務課長	まだ最終決定していないが、中学3年生、いわゆる受験対策もあるので、優先順位でいけば中学3年生が先かと考えている。そうすれば2年生は翌年にエアコンのある教室に入れる、順次上がっていくので、そういったように考えている。
野藤委員長	その他。佐々木委員。
佐々木委員	昨今の暑さは一昔前とはかなり違っていて、個人的には必要性を認める立場だが。朝の見回り等しながら子供たちにも聞いてみたりする。エアコンは必要と思うかと言うと、遠慮がちに「いや」という声を聞くのだが。これは学校の先生のアンケートとのこと

だが、児童生徒の意見を把握しておられたら教えて欲しい。

教育総務課長

個別の児童生徒の意見聴取まではしていないが、担任の先生が見られた状況ということで一応お知らせしている。ただ、以前小学生の女の子が新聞の投書に「要らない」といった意見を出されたこともある。やはりこの辺は考え方や個人の体質もあるのだろうが、遊んで汗をたくさんかいた後に極端に冷えた部屋に入ることによる体調不良を心配される先生もおられるし、すぐ集中して勉強に取り組めることもある。意見はそれぞれあると思うが、個別の児童生徒の意見は取っていない。

佐々木委員

少数かもしれないが、多様な意見もあるのかなと感じた。もう1つ、温度を下げるのはエアコンに勝るものはないと思うが、各学校で色んな工夫はされておられて、扇風機を設置するのは焼石に水のようなと思うが、もうちょっと大きな効果として校庭の芝生化の件。周布小、長浜小、国府小の効果に関する調査、感覚がかなり違うという話も聞いているので、暑さ対策についての芝生化の効果はどう捉えておられるのか。関連して伺いたい。

教育総務課長

今あったように3校が芝生化されている。それぞれ芝生化した理由が、周布の場合は砂が近所に飛ぶということ、子どもの運動面。長浜小では地元の要望があったこと、補助もあったこと。国府は冬場の強風による砂の飛散防止ということで、とりあえずこの3校を実施している。具体的にどの程度温度が下がったかという数値的なものは持っていないが、照り返しは相当違うだろうなというのはある。

野藤委員長

その他。西田委員。

西田委員

あくまで私の個人的な思いだが、子どもたちの成長にしても普通の人間の生活にしても、全てアナログなので、データをとることも大事だが、例えば一番大事なのは、我々がこうやって涼しい所で会議をしているのを、暑い時の学校現場で皆で会議してみたら、皆どんな感じの会議になるかなとか、そういう学校現場の子どもたちや先生方の意見や声だけを吸い上げてここで判断するのではなく、私たちが、教育委員会のどなたでも、1回学校現場と一緒に、子どもたちとそこで会議なり勉強してみたら皆さんよくお分かりになるのではないかと思う。我々が現場に出かけて行

って、自分たちの五感で感じてみて、これは絶対必要かどうか我々がその場で判断する。そういったやり方も大事ではないかと思う。

教育総務課長

もし調査会なり委員会を、学校貸せと言われればすぐ準備させていただく。明日というわけにはいかないが、1ヶ月以上前くらいに言っていただければ、職員も皆入れるくらいの会議室があるので、暑い部屋を用意させていただくので、よろしくお願いします。

野藤委員長

暑さもあれば寒さもあると思うが。他に。道下委員。

道下委員

直近の全国の普通学級のあれは持っておられるか。

野藤委員長

エアコン普及率のことだろうか。数字が分かれば。

教育総務課長

小学校で良ければ、全国で49.6パーセントの教室。島根県が27.4パーセント。浜田市が1桁だった。

道下委員

当然これは増えつつあるんだよね。

教育総務課長

全国的には増えつつある。浜田市は保健室や特別教室について対応中であり、普通教室についてはまだ整備していない。それを今後増やしていきたいということもあってこういう調査をしている。浜田市の小学校が8.9パーセント、中学校が2.9パーセント。安来・雲南は100パーセントの整備状況にある。

先ほどの駐車場の件の資料が出たので回答して良いだろうか。駐車場6台をこの敷地内に整備する予定。うち1台が身障者用の駐車場となっている。

他にご質問は。

(「なし」という声あり)

野藤委員長

ここで1時間少し経過したので、前の時計で20分まで休憩に入りたい。

[11時10分 休憩]

[11時20分 再開]

野藤委員長

会議を再開する。

(7) 平成29年度全国学力・学習状況調査結果について

野藤委員長

この件について、学力向上推進室長。

学力向上推進室長

(以下、(7)の資料をもとに報告)

野藤委員長
西川委員

報告が終わった。この件について委員から質疑は。西川委員。
改善されているのはよく分かるが、特に問題なのが5ページの一番下の所。中学生の学習時間が全国よりかなり低い。私の方は3人中学校へ送り出したが、小学生は勉強していて中学校で勉強が少なくなるのはおかしいと思う。ここについて改善していかないといけないと思うのだが、その方策として、多分家庭学習の時間への課題の与え方が、自分の子どもを見ているとどうなのかなと思ったこともあるし、今でもPTA総会でそういう声を聞いたこともあるので、中学校の家庭学習の与え方、各校どうなってるのか、どうお考えでどう対応していくのか、あれば教えて欲しい。

学力向上推進室長

中学校の家庭学習の時間はなかなか伸びていくところまで行っていないが、各学校の宿題の出し方については、似たような取り組みをされる所がほとんどである。どのようにされるかというところ、宿題についての内容を終礼の時間に、今までは取っていないかという時間を確保して、こういう内容の宿題をやろうという計画を子どもたちにさせるということをしておられる。それから、学習のためのノートを準備させていて、その学習ノートを翌日やってきた段階で、昇降口にボックス等を準備して各学級ごとに回収して、そのノートの確認を、時間が空いている先生方が朝の段階から始めるという取り組みを進めておられる。そういう取り組みについてはある程度強制力や、先生方からの指導が入っている。一方で課題として、個人的意見だが、中学生が学習に向かう意欲をもって学習に取り組んでいくという所が、意識調査等を見ても不足している部分ではないかと思うので、その辺を改善していくための手立てを探っていかなければならないと考えている。

西川委員

意欲の改善となるとかなり時間がかかると思う。学習ノートの件はすぐ効果が出るかもしれないので、すぐ取り組んでいただきたい。各学校ごとに取り組みが違うのもあれなので、ある程度その辺を押さえている方策があったら良いかなと思う。

野藤委員長
道下委員

その他。道下委員。

教職員の授業力の向上といったところを最後あたりに言われたが、私はこの辺も力を入れていかねばいけないところなんだろうなと。秋田や福井はその辺先進地だと思っている。先進地へ先

	<p>生を研修させに行く事業があると思うが、それは今どういう状況か。</p>
<p>学力向上推進室長</p>	<p>福井への教職員の派遣については、今年度4年目になったが4名の先生方を派遣することを継続してきている。ただ1ヶ月等の長期にわたると学校運営にも支障が出てくるので、期間については1週間となっている。時期は5月頃だが、福井市の教育研究会や音楽会等が集中して行われる週を確認し、そこへ入っていただけるように調整を図っている。</p>
<p>道下委員</p>	<p>4年目になると。人数の増減はどうか。</p>
<p>学力向上推進室長</p>	<p>毎年4名ということで行っている。</p>
<p>道下委員</p>	<p>この4年間取り組んでこられて、1週間、普通なら全国では研修期間は1ヶ月となっているのではないかと私は思う。先生が少ないから期間は1週間しかできないのだといった所からまずは改善することから取り組まねば、教職員の授業力向上になかなか繋がっていかないのではないかと思う。その辺はどのようにお考えか。</p>
<p>学力向上推進室長</p>	<p>福井の視察は島根県内でも各種行っておられる。1週間は県内では長い方。1日とか2日という強行スケジュールでやっておられる所が多くて、浜田市は予算を付けていただいて、1週間朝から夕方まで各校を回らせてもらっているので、県内で考えたらではあるが、優遇というかそれなりの措置を取っていただいていると私は考えている。福井の視察に関してだけを見た時には、そう考える。</p>
<p>道下委員</p>	<p>では他の所、福井では1週間だが例えば秋田ではどうか。他の所の考え方は持っていらっしゃるのか。</p>
<p>学力向上推進室長</p>	<p>今のところ、福井との連携の中からこういった事業を継続できていると思うので、他市に広げていくことは考えてない。教職員の事業力向上については、他市の視察をするのも1つの大きな力になると思うが、日々の授業の改善のために日々の研修をサポートできるような事業を行っていかないといけないのではないかと考えている。その辺を充実させること。県でも事業を行っていくので、そういった研修に参加させていただくことを含めて、授業力の向上を図っていくことが必要であると考えている。</p>

道下委員	全体的に当然いただいた中で、島根県の中では浜田市としては、授業力向上に向けた取り組みはかなり濃厚にやっていると認識して良いのか。
学力向上推進室長	研修という点について、濃厚かどうかは分からないが、研修関係への予算配当で見ると、浜田市は教育関係の予算配当は、他市と比較すると多い方だと私は考えている。
野藤委員長	その他。
野藤委員長	(「なし」という声あり) ではこの件については終了する。

(8) 平成 29 年度浜田開府 400 年記念プレ講演・座談会《第 3 弾》について

野藤委員長	この件について、文化振興課長。
文化振興課長	(以下、(8) の資料をもとに報告)
野藤委員長	報告が終わった。この件について委員から質疑は。
野藤委員長	(「なし」という声あり) ではこの件については終了する。

(9) 浜田市消防団車庫の統合について

野藤委員長	この件について、警防課長。
警防課長	(以下、(9) の資料をもとに報告)
野藤委員長	報告が終わった。この件について委員から質疑は。永見委員。
永見委員	現在進行中の計画ということでお示しいただいているが、特に都川分団・木東分団で、都川分団については 1、2、3 班を統合、また木東については 1 から 5 班を統合するというので、これ当然統合されることとなれば、現在各班に配置されているポンプや積載車が廃止されると理解してよろしいか。
警防課長	車両に関してはそういうことになろうかと思う。
永見委員	そうすると万が一火災が発生した場合に、初期消火がきちんと対応できるのか心配なのだが、その辺りはいかがか。
警防課長	ここに示させていただいている都川分団・木東分団に関しては、割と近い所に班車庫があるので、例えば都川分団に今 3 台あるものを何台まで減らすのか等については、今後の協議を踏まえて検討していきたいと思っている。
永見委員	それでは木東分団についても 1 班から 5 班について、積載車や

ポンプの配置については、今後検討されると理解させていただいてよろしいか。

警防課長

はい。台数について、まだ決定しているものは今の段階では何らない。

永見委員

積載車やポンプの廃止については理解した。現在進行中の統合計画、各分団お示しいただいているが、この他にそういう声が上がっている隊や分団等々があれば、その辺りの状況もお聞かせいただければと思う。

警防課長

今のところ、消防団からこちらに、利便性や班員の不足によるような話が上がってきている所はいくらかはある。ただ、そこについてある程度代替の、例えば土地といったものがこちらも、探してはいるが、ある程度話ができる状況になった所から話をさせていただいているのが現状である。

永見委員

あと出動状況等について若干。浜田分団の各班の消防倉庫を警察跡地に集約する計画をここにお示しいただいているが、これも浜田分団の火災時における出動状況等もあろうかとは思いますが、常備消防があるのでその辺りの対応についてはいかがか。

警防課長

浜田分団の災害時の出動状況ということか。数字的なものはちょっと持っていないが、例えばここで台数を集約することになると、これは浜田市全体として、出動範囲を広げていく意識を当然持ってもらうことになる。そこで出動台数をカバーすることが重要になってくると思う。

永見委員

だいたい理解できた。初期消火を一番心配する。先ほどご説明いただいたように、都川・木束分団についても積載車・ポンプ車の配置は今から検討という説明だったので、また地元の要望も含めて対応していただければと思う。

野藤委員長

ではこの件については終了する。

(10) 浜田市負担金の島根県からの返還について

野藤委員長

この件について、通信指令課長。

通信指令課長

(以下、(10)の資料をもとに報告)

野藤委員長

報告が終わった。この件について委員から質疑は。佐々木委員。

佐々木委員

数字ばかりでよく分からない感じもする。ざっくり言うと浜田

市がデジタル無線整備について全体で3億円かけたけど、不当な取引で5000万円返ってくる、単純に言うとそういうことか。

通信指令課長 そうしたことだ。

佐々木委員 それについて浜田市が整備しているデジタル無線は、特にこのまま使うことには何ら問題ないということか。

通信指令課長 機器不良等はないので、全く問題なく使える。

野藤委員長 その他。

野藤委員長 (「なし」という声あり)

野藤委員長 ではこの件については終了する。

(11) その他
(配布物)

・浜田・益田地方拠点都市地域基本計画

野藤委員長 1件の配布物がある。ご確認をお願いします。
他に執行部から何かあれば。

野藤委員長 (「ありません」という声あり)

野藤委員長 委員から何かあれば。道下委員。

道下委員 最近市民の皆さまから私に電話があった。公用車にドライブレコーダーを付ける案はどうなんだ。今まさにあちこちで危険行為、煽り運転というのか、色んなことがある。それらを踏まえて早急に取り組むべきではないのかといった相談だった。その点についてどのように考えているか、今の状況はどうか。

行財政改革推進課長 今公用車約380台程度あるが、そのうち既にドライブレコーダーを設置しているのが15台。今年度からは車両のリース更新の際にドライブレコーダーを設置するようにしている。ドライブレコーダーは1台約2万程度かかるので、全体に設置すると単純計算で700万円程度かかることになる。順次設置することを考えているが、費用対効果も十分検討しながら設置に努めていきたい。

道下委員 費用対効果はかなりあると私は思うし、市民の皆さんもそう認識しておられるのではないかと思うが。

行財政改革推進課長 効果はあると思うが、その費用に見合ったものがどれだけ……実績としては今のところないので、ただ有事の際には証拠になる等、効果はあると認識している。

道下委員 有事の際と言われたが、有事があってからでは遅い。それを未

然に防ぐ効果があると考ええる。防犯カメラも兼ねていると私は思うし、市民の方もその点を私に言われた。改めてその辺は検討、色んな取り組みを考えていただきたい。

野藤委員長

その他。

(「なし」という声あり)

野藤委員長

それでは、ここで執行部からの報告事項(10件)及び配布物(1件)について、全員協議会へ(①そのまま提出し報告すべきもの、②資料配布のみとすべきもの、③提出の必要はないとするもの)の決定をしたい。

執行部側の意向を報告いただきたい。総務課長。

総務課長

(意向を報告)

野藤委員長

以上執行部側の意向を聞いた。委員から質疑は。佐々木委員。確認だが、9番の消防団車庫の統合は……。

佐々木委員

提出を行わないということ。

総務課長

佐々木委員

何もしない。

総務課長

はい。総務文教調査会のみ報告とさせていただきたいと考えている。

佐々木委員

永見委員がそれで良いかどうか分からないが、全体の問題だし、大変大きなことではないかと、聞いていて思ったのだが。

(「では資料配布で」という声あり)

野藤委員長

では9番の浜田市消防団車庫の統合については、資料配布をお願いしたい。

その他、ご意見は。

(「なし」という声あり)

野藤委員長

では、このように決定する。

- (1) 産業建設委員会からの提出
- (2) 資料提出なし
- (3) 資料配布のみ
- (4) //
- (5) //
- (6) //
- (7) 報告あり
- (8) 資料配布のみ
- (9) 資料提出なし→資料配布のみへ
- (10) 報告あり
- (11) 資料配布のみ

執行部の方はここで退席されて構わない。

《 執行部退席 》

2. その他

野藤委員長

議題2のその他。委員から何かあれば。ちょっと私から。

先ほどあった、消防のデジタル無線について。返還金が生じたわけだが、通信指令課長から委員の皆さんに見ていただきたいということで、我々は以前からの委員さんは行ったことがあるのだが、新しい委員もおられるので実際の物を見ていただいた方が良いのでは、という意見が消防から出た。日程調整をしていただき、消防署を見に行きたいと思う。よろしいか。

(「はい」という声あり)

野藤委員長

では日程調整等は正副委員長にお任せいただきたい。

その他、何かあれば。

(「なし」という声あり)

野藤委員長

以上で、総務文教調査会を終了する。

(閉 議 12時13分)

浜田市議会調査会規程第6条の規定により、ここに調査会記録を作成する。

総務文教委員長 野 藤 薫 ⑩